

第 192 回 冷戦の終結



カーター
第 39 代大統領。クリーンなイメージが売리だが、政権基盤は弱かった。むしろ大統領引退後に活躍した。

1 アメリカと「第 2 次冷戦」

- ◆ () (民主党) (在任 1977~1981 年)
 - ・「人権外交」と呼ばれる政策を行い、パナマ運河のパナマ返還を約束した。
 - ・中東和平合意を仲介し、() も実現した。
 - ・1979 年、() が起こると、その対応に苦慮した。
 - ・1979 年、ソ連が () に侵攻し、米ソの対立が強まった。
→「 」と呼ばれる対立となり、両国の軍事費が増加した。



レーガン
第 40 代大統領。元はハリウッドの俳優。私がリアルタイムで覚えている最初の大統領です。

- ◆ () (共和党) (在任 1981~1989 年)
 - ・戦略防衛構想 (SDI) など、「 」を誇示して軍備を拡大した。
→1983 年、社会主義政権打倒のためカリブ海のグレナダに侵攻した。
→しかし () と呼ばれる巨額の赤字を抱えるようになった。
→1985 年の () で、ドル安政策を進めた。
 - ・日本の () 首相とは個人的に親しい関係であったが、経済成長を続ける日本との貿易摩擦も問題となった。
 - ・後半はソ連との緊張緩和に転換し、1987 年、() を締結した。



レーガンと中曽根首相

レーガンが行ったレーガノミクスと呼ばれる「小さな政府」を目指す一連の試みは、イギリスのサッチャー政権、日本の中曽根政権、西ドイツのコール政権とも共通する新自由主義の政策である。



中距離核戦力 (INF) 全廃条約調印

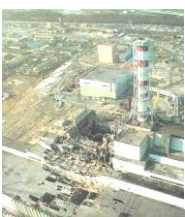
ソ連のゴルバチョフ書記長は、ペレストロイカと呼ばれる改革を行っていた。この条約調印には、軍事費を削減するという目的があった。



ゴルバチョフ
頭のしみが有名。ブレジネフ以降、老いた指導者が続く中、54 歳で書記長に就任した。日本でもゴルビーと呼ばれ人気となった。

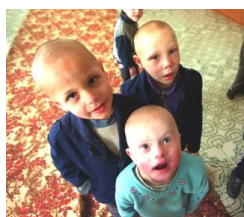
2 ソ連とペレストロイカ

- ◆ () (書記長在任 1985~1991 年 ※90 年からは大統領)
 - ・ソ連では、1982 年にブレジネフ書記長が死去した。
→アンドロポフ、続いてチェルネンコが後継者となったが次々に死去した。
- ◆ () () (書記長在任 1985~1991 年 ※90 年からは大統領)
 - ・1986 年、ソ連内のウクライナで () が発生し、甚大な被害を出した。
 - ・停滞するソ連を変えるため () と呼ばれる改革に着手した。
→情報公開である () や、市場経済への移行を行った。
→西側からは高く評価されたが、混乱が生じ不満も高まった。



チェルノブイリ

人類史上最大の原発事故。レベル 7 に規定されるのはチェルノブイリとフクシマのみである。事故処理に関わった多くの人も、病気となった。



チェルノブイリの子供たち

この子供たちは、原発事故の時は生まれてもいなかったが、現在、放射能を原因とする白血病で苦しんでいる。事故の怖ろしさを感じる。



マクドナルドのモスクワ店

市場経済導入の一例として、アメリカの象徴であるマクドナルドができた。人々は、「自由」の雰囲気憧れ、大行列を作った。

3 冷戦の終結

- ・ソ連のゴルバチョフは（ ）を行い、アメリカと中距離核戦力（INF）全廃条約に調印し、1989年に、アフガニスタンからも撤退完了した。
- ・1988年、新ベオグラード宣言で、東欧社会主義国家への干渉も否定した。



東ドイツのホネカー18年間、東ドイツで独裁的な地位にあった。ホーネッカーの方がなじみがある。

- ・1989年10月、東ドイツでは、ホネカー書記長が退陣して独裁が終了した。
→（ ）年11月、（ ）が崩壊した。
- （ ）年10月、西ドイツが東を吸収して（ ）が実現した。
- ・（ ）年、アメリカのブッシュ（父）大統領とソ連のゴルバチョフ書記長は、地中海のマルタ島で（ ）を行い、冷戦の終結を宣言した。



ベルリンの壁崩壊

ベルリンの壁崩壊は、冷戦終結の象徴的なシーンである。それにしても壁崩壊からドイツ統一までは、息もつかせぬスピードだった。



統一ドイツ大統領ヴァイツゼッカー

「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目になる」と述べ、ナチス時代への反省を呼びかけた。



ブッシュ(父)とゴルバチョフ

冷戦は、ヤルタ会談に始まりマルタ会談で終わった。1989年という年は、ひとつの時代が終わった年である。小学4年生の私にも、世界の変化がひしひしと感じられた。

4 東欧革命とソ連の崩壊

- ・冷戦の終結により東欧各国で社会主義政権が倒れ、東欧社会主義圏は消滅した。
- ・1991年、（ ）と（ ）は、存在理由を失って解消された。

- ・1990年、ポーランドでは、ヤルゼルスキの共産主義政権が倒れた。
→1990年、自主管理労組「ソリダリテ」の（ ）議長が大統領となった。
- ・1989年、ルーマニアでは、（ ）大統領が処刑された。
- ・1989年、チェコスロヴァキアではビロード革命によりハヴェルが大統領となった。
- ・ソ連では、1990年に連邦人民代議員大会で大統領制の導入が決まった。
- ・しかし1991年、反ゴルバチョフの（ ）が発生した。
→クーデタは失敗したが、ゴルバチョフは（ ）させた。
→1991年9月、（ ）がソ連を離脱して独立した。
→1991年12月、（ ）が成立し、（ ）した。

☆（ ）（1991～2023年現在）

◆（ ）（在任1991～1999年）

- ・ロシア連邦の初代大統領となったが、ソ連崩壊にともなう経済混乱に苦しんだ。



処刑直前のチャウシェスク

写真は逮捕されて裁判を受けるチャウシェスク。全財産没収と死刑が宣告され、直後に執行された。この様子は世界中で放映された。



保守派クーデタ

ゴルバチョフの休暇中をねらって保守派が起こしたクーデタは、3日で失敗した。左端は、戦車に乗ってクーデタを阻止しようとするエリツィン。



ロシアのエリツィン大統領

ロシアの民主化を成し遂げたが、経済混乱と政治の腐敗に苦しんだ。ウォッカの飲みすぎで晩年は健康を害した。